



今月の話題：天井崩落事故以来、閉館していた九段会館の取り壊しが決まった。日本建築史上、一時期を彩った帝冠様式と称される建築が一つ消え去るが、そのことが特に話題になることはなさそうだ。国内最古とされる三原橋地下街も一部に保存の要望はあるものの、解体されつつある。地方の木造舞台の修復復活が盛んで土地の活性化が期待されているとも聞く。一方で、虎ノ門ヒルズ開業を機に規制緩和の特区が指定され、再開発の大規模化で景観を構成していかつつかの著名建築が建て替えられるらしい。廃墟の軍艦島を世界遺産にという声があると聞く。世界遺産に登録された都市街区を見るとまぎれもなく積み重ねられた歴史を刻んだ建築文化だ。日本の建築文化に対する歴史認識を再考すべき時ではないだろうか。（伊藤誠三）

□ 建築部会（安部重孝記）

- ・モンゴルでの建築技術シンポジウム（8/22～27）講師7名のチケット手配済。7月初旬、モンゴル建設企業ヌーデルチン一行の訪日への対応を検討中
- ・伊藤忠都市開発への社員建築技術研修が開始。
- 6/16「石材、シール・防水材を中心に仕上げ材選択の留意点」（講師：伊藤誠三）6/30「建築生産の変革を目指す BIM の最新動向」（講師：泉清之）
- ・建築技術教育普及センターへ申請した「建築生産の効率化を目指す BIM 普及促進のための調査・研究」は助成選考で不採択となりましたが、当部会としては WG のテーマとして取り組むことにしています。

次回部会予定：7月16日（水）17：30～

□ 戸建部会（阿部一郎記）

- ・建築技術教育普及センターへ研究助成金申請した、「大型木質構造建築設計 WEB セミナー 2014」（小藤常務理事申請）が助成対象として採択されました。

□ 集合住宅部会（小畑晴治記）

- ・6月24日、集合住宅部会開催。
- ①中層 EV の開発研究の取り組み状況、
- ② 住友 3M 展示場見学会への要望事項、
- ③ 寺子屋サーツ（大原一興 横国大教授による「高齢化が進む団地の生活支援住宅の在り方」）に関する意見交換を行った。
- ・次回部会予定：9月2日（火）

□ マンション管理組合支援事業（向野元昭記）

- ・6月24日部会、協議事項は以下の通り
- ① 業部活性化の一環として、提出書類の統一を図る為、再度、担当を決めて実施する。
- ② 東京都と共催の「耐震セミナー」9月6日（土）

実施予定の第1回打合せ 6/18（月）第2回打合せ 7/3（木）で都市整備局住宅政策推進部マンション耐震化係長山田耕司氏が来訪予定。

- ・次回部会予定：9月2日（火）16：00時～

□ 歴史的建築研究会

- ・新会員募集：「歴史的建造物の保存についてのガイドライン」を提案しようとしています。関心のある方々、ご連絡ください。当方から直接参加をお願いする方々には宜しく願いいたします。

ご質問、ご連絡は菅沢光裕 (VEB02131@nifty.ne.jp) 又は伊藤誠三 (poupee@fa2.so0net.ne.jp) まで

□ 建築技術誌 7月号サーツ欄に掲載

- ・濱中冬行氏「マンション長期修繕計画のコストと資金」
- ・太田統士氏「保存建物に現代化活用の息吹を」

□ 会員名簿：ホームページ：会員紹介のページに

「★会員名簿をリスト表示する (PDF) →」を追加、必要に応じて最新の会員リストがプリント出力できます。 (<http://www.psats.or.jp/profile.html>)

□ 短信：（伊藤記）

☆ A-Forum 第2回が6月21日、「使える超高層が壊されるのはなぜか」というテーマで パネリスト：岩井光男氏（三菱地所設計元副社長）、中川雅之氏（日本大学経済学部教授）、コーディネーター和田章先生で行われ、有意義な討論がありました。

☆ サーツ紹介英文リーフレット作成：近く建築部会のモンゴル遠征の企画もあり、英文リーフレットを作成することとしました。

□ 自主交流企画：

☆サーツ・シンポジオ例会：7月29日（火）

（注：月例の自由参加、世相談論の会です。純米銘酒、料理が用意されます。会費 5000 円 新規参加ご希望の方は伊藤まで）